

(4) 学校開放講座

学校開放講座

沖縄県立浦添工業高等学校

小学校向けプログラミング講座

1 講座の内容

2020年から始まる小学校のプログラミング必修化に合わせて、問題解決手順(アルゴリズム)やブロックコマンダーによるプログラミング、マイコン制御技術を学ぶ。本講座では、アルゴリズムについて学習した後、マイコン(micro:bit)のプログラムについて学習する。最後に、micro:bitを制御してゲームを楽しむ。

2 講座の概要

- (1) 講師 金城 達也 氏(沖縄県立浦添工業高等学校 教諭)および3年生4名
- (2) 期間 令和元年10月19日(土)・20日(日) 10:00～15:00
- (3) 学習時間 各4時間
- (4) 受講者数 6人
- (5) プログラム
 - 1. 講師紹介
 - 2. アルゴリズムについて
 - 3. マイクロビットについて
 - 4. プログラム
 - 5. ゲーム体験



3 成果

マイコン(micro:bit)とプログラミングに興味を持たせることができた。
その他のプログラミング(scratchやruby)にも興味を持たせることができた。
マイコンを制御する楽しさを体験できた。

4 課題

宣伝方法。対象としていた小学校の教諭や小学生に募集をかけても応募が1件しかなかった。広く無差別に募集をかけるよりも、ピンポイントにターゲットを絞って(浦添市内小中学校とするなど)募集をかけ、直接対象校に宣伝をする方が良いかと思った。また、対象範囲も中学生まで広げ、内容を再検討する必要性を感じた。

Scratch言語でのプログラミング

1 講座の内容

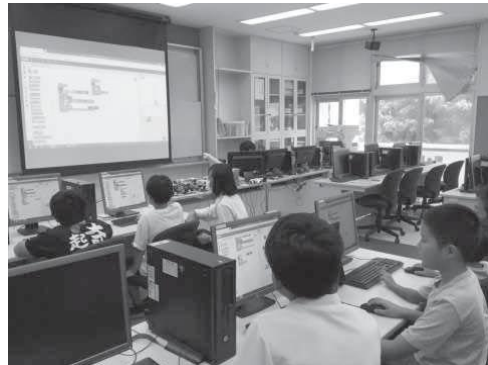
Scratch(スクラッチ)はライフロング・キンダーガーデン (MITメディア・ラボ) が開発したプログラミング言語で、マウス操作をベースに、ブロックをつなぎ合わせながらプログラムできることが特徴である。

また、micro:bit(マイクロビット)は、イギリスBBCにより開発された教育用ワンボードコンピュータであり、LEDやボタンスイッチ、各種センサを搭載している。

本講座では、Scratchでプログラミングしたプログラムを用いて、Scratchとmicro:bitを連携させたゲームを体験する。

2 講座の概要

- (1) 講師 友利 悟 氏 (沖縄県立美来工科高等学校 教諭)
- (2) 期間 令和元年10月19日(土) 9:00~12:00(3時間)
- (3) 学習場所 沖縄県立美来工科高等学校 電子システム科棟 2階電算機室
- (4) 受講者数 4人
- (5) プログラム
 - ・開講式
 - ・体験学習「Scratch言語でのプログラミング」
 - ・閉講式
 - ・アンケート記入



3 成果

- ・受講した小学生にプログラミングの楽しさを体験してもらえた。
- ・Scratchをテーマとして「課題研究」を行っている本校生徒が全体の概要説明を行った後、電子工作部の部員が対一でアシスタントティーチャーとして受講生の学習支援を行った。そうすることで本校生徒の「人前で発表する能力」、「初めての人に分かりやすく教える能力」等を進歩させることができた。

4 課題

- ・当初、受講対象を中学生とし、まなびネットおきなわWebページでの案内、本校体験入学時のアナウンス、中頭教育事務所管内27校へFAX案内、本校Webページでの案内等でも受講希望者が確保できない状況があった。最終的には、小学生4人で講座を行うことができたが、広報活動の難しさを実感した。

EV3を用いてのロボット制御

1 講座の内容

EV3(教育版レゴ・マインドストームEV3)は、ライフロング・キンダーガーデン(MITメディア・ラボ)が開発したプログラミング言語で、マウス操作をベースに、ブロックをつなぎ合わせながらプログラムできることが特徴である。

本講座では、本校電子工作部の生徒が、受講生1名ずつ支援できるように配置し、センサーやモータを装備したレゴロボットの制御方法を学び、体験する。

2 講座の概要

- (1) 講師 友利 悟 氏 (沖縄県立美来工科高等学校 教諭)
- (2) 期間 令和元年10月20日(日) 9:00~12:00(3時間)
- (3) 学習場所 沖縄県立美来工科高等学校 電子システム科棟2階電算機室
- (4) 受講者数 5人
- (5) プログラム
 - ・開講式
 - ・体験学習「EV3を用いてのロボット制御」
 - ・閉講式
 - ・アンケート記入



3 成果

- ・今回、受講した小学生にプログラミングの楽しさを体験してもらえた。
- ・本校の電子工作部の部員が、全体の概要説明を行った後、一対一のアシスタントティーチャーとして受講生の学習支援をすることで、本校生徒の「人前で発表する能力」、「初めての人に分かりやすく教える能力」等を進歩させることができた。

4 課題

・当初、受講対象を中学生とし、まなびネットおきなわWebページでの案内、本校体験入学時のアナウンス、中頭教育事務所管内27校へFAX案内、本校Webページでの案内等でもなかなか受講者が集まらなかった。最終的に小学生5人での受講となり、広報活動の難しさを実感した。

プログラミング初心者講座

1 講座の内容

本校ITシステム科で生徒たちが学習しているプログラミングの仕組み、楽しさ、可能性を広く地域の方々に知ってもらう機会とする。ロボットやマイクラフトを使用することで、受講者にプログラミングに興味を持ってもらう。

2 講座の概要

- (1) 講師 福原 悠二 氏 (沖縄県立美来工科高等学校ITシステム科 教諭)
- (2) 期間 令和元年10月26日 (土)
- (3) 学習時間 10:00～12:00／13:00～15:00 (4時間)
- (4) 受講者数 19人
- (5) プログラム
 - ・ 開講式
 - ・ Spheroを利用したロボットプログラミング
 - ・ マイクラフトを利用したプログラミング
 - ・ 閉講式



3 成果

- ・ 2020年小学校のプログラミング教育必修化に向けて、小学生と保護者のニーズに応えられたのではないかと考える。
- ・ メンターとして本校ITシステム科の生徒たちも参加し、日頃の学習の成果をアウトプットする機会が出来た。
- ・ 本校ITシステム科のことを地域へ発信することが出来た。

4 課題

- ・ 受講者への講座の広報の仕方を工夫する必要がある。

キッズビジネスタウン南商withやえせマルシェ

1 講座の内容

- ・本校生徒が日頃の学習活動で学んだ知識、技術・技能を活用し、各体験ブースでの小学生のサポートや、販売・接客等の実習を通し、自らの学びの意義を再認識するとともに、学習意欲の向上に繋げる。
- ・小学生の仕事体験をサポートすることで、コミュニケーション能力の育成を図ると共に、地域社会との交流を深め、信頼関係を築く。
- ・参加した小学生、保護者、地域の方々に対し、本校の教育活動について理解を深めていただく機会とする。

2 講座の概要

- (1) 期間 令和元年12月13日(金)10:00 ~14:30
- (2) 場所 南部商業高等学校内
- (3) 学習時間 4時間半
- (4) 受講者数 244人
- (5) プログラム

- ・小学生が街の市民となり、仕事探しから始め、就職・給料・納税・退職・買い物など「働くこと生活すること」の一連の流れを体験する。
- ・「仕事体験」では、企業等にも協力依頼をし、地域や産業界との連携を図る。
- ・児童によるお仕事体験 (全33ブース)
公共機関等・小売店・製造業・飲食店・サービス業・やえせマルシェ



3 成果 (子供達のアンケートより)

お兄さん、お姉さんが優しく面白くて楽しかった。来年も来たい。一連の流れが楽しかった。将来の役に立った。仕事の実感できた。働くことの大切さを知れた。楽しくて時間を忘れてた。自分で働いたお金で買い物をする楽しさを学んだ。清掃局で協力しながら教室を回れて良かった。働くのが重要で家族に感謝しようと思った。また行きたいと思わせる行事だった。友情が深まった。緊張したけどどんどん楽しくなった。働いたお金で買ったら働いたという実感があつた。今回参加した児童のアンケートを分析すると、「キッズビジネスタウン南商withやえせマルシェ」に参加して「働くことの楽しさ」「働くことの大切さ」「社会の仕組み」「他の人との協力」を学んだと実感してもらった。また98%の児童が来年も参加したいと回答した。

4 課題

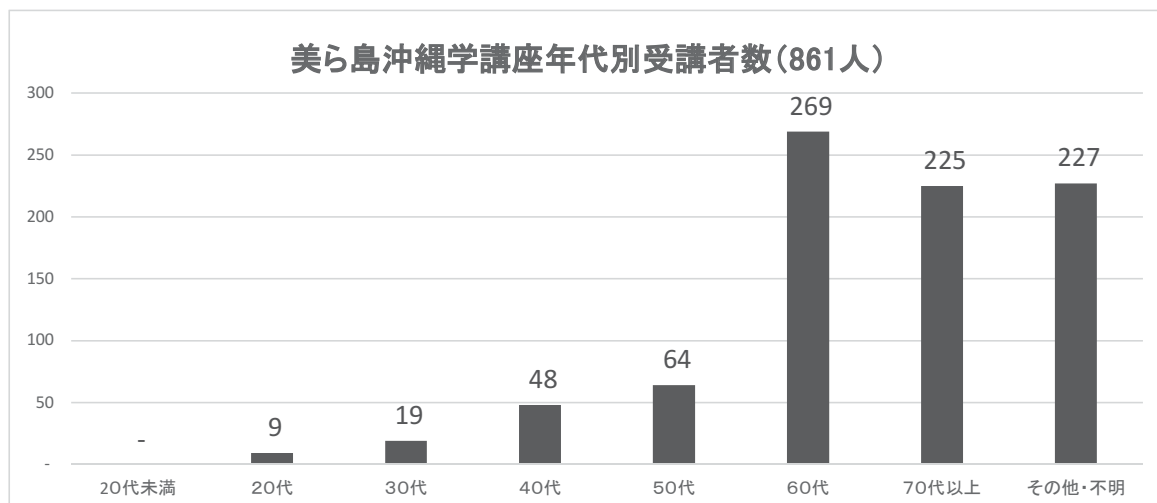
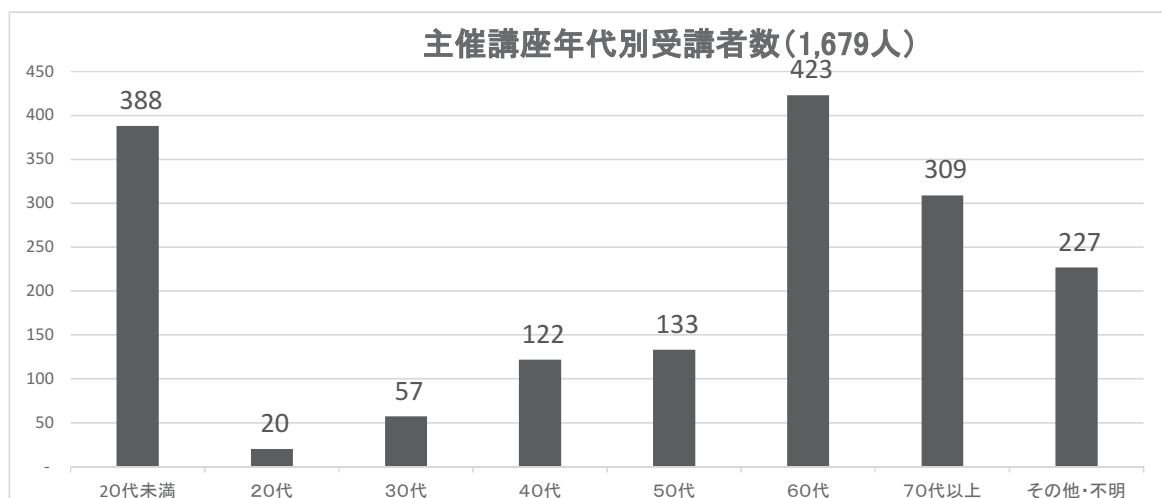
今回の参加が4回目・3回目・2回目の児童もおり、次年度以降もより進化したキッズビジネスタウンを開催していきたい。

3 主催講座受講生アンケートより

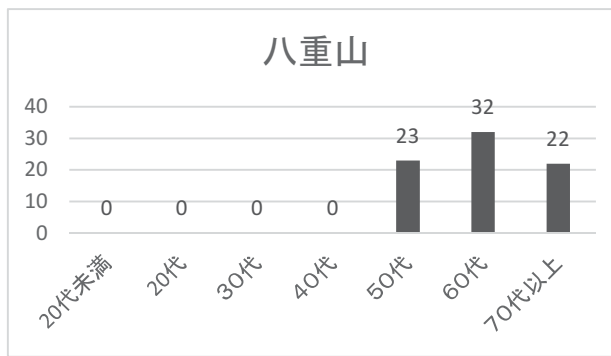
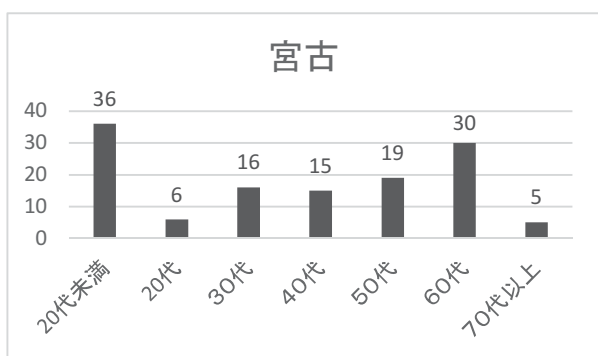
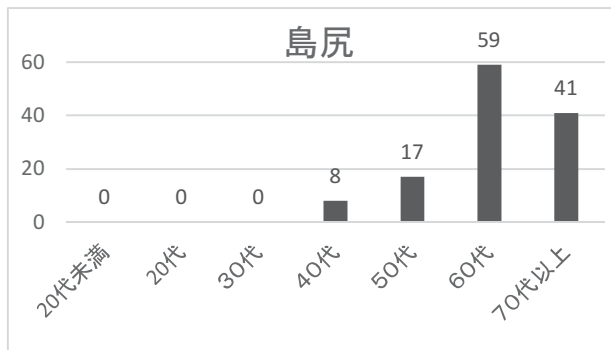
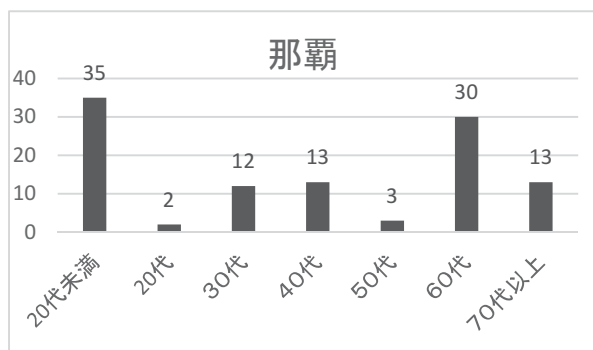
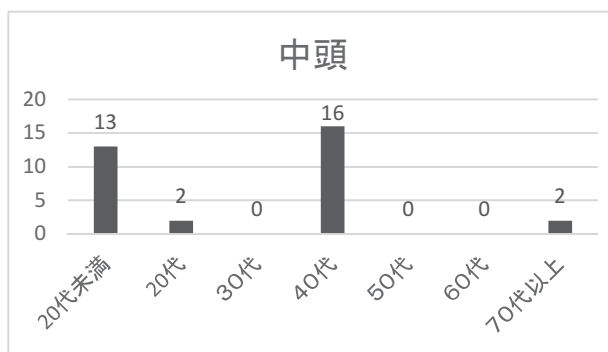
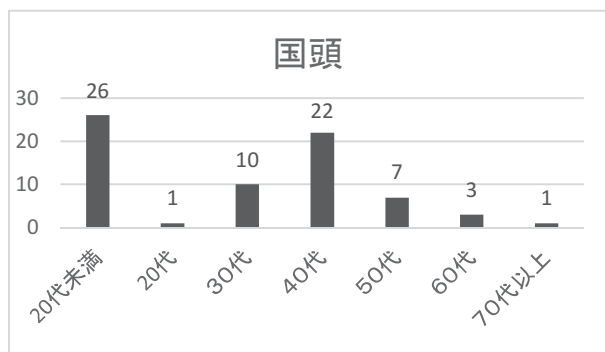
(1) 主催講座受講生の状況

① 主催講座受講者数と年代別分布

令和元年度	美ら島沖縄学講座	広域学習サービス講座							学校開放講座	合計
	センター	計	国頭	中頭	那覇	島尻	宮古	八重山		
20代未満	-	110	26	13	35	-	36	-	278	388
20代	9	11	1	2	2	-	6	-	-	20
30代	19	38	10	-	12	-	16	-	-	57
40代	48	74	22	16	13	8	15	-	-	122
50代	64	69	7	-	3	17	19	23	-	133
60代	269	154	3	-	30	59	30	32	-	423
70代以上	225	84	1	2	13	41	5	22	-	309
その他・不明	227	-	-	-	-	-	-	-	-	227
計	861	540	70	33	108	125	127	77	278	1,679



広域学習サービス講座 年代別受講者数（教育事務所別）



② 学校開放講座市町村別受講者数

※（年代は全て小中学生）

高校名	浦添工業	未来工科 (電子)	未来工科 (IT)	南部商業	合計
うるま市			2		2
沖縄市		3	1		4
北中城村			16		16
浦添市	4				4
那覇市	2	5			7
豊見城市				112	112
糸満市				132	132
与那原町		1			1
合計	6	9	19	244	278



③ 主催講座受講者数(市町村別)

令和元年度	美ら島沖縄学講座	広域学習サービス講座							学校開放講座	合計
	センター	計	国頭	中頭	那覇	島尻	宮古	八重山		
国頭村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大宜味村	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
今帰仁村	1	1	1	-	-	-	-	-	-	2
本部町	7	2	2	-	-	-	-	-	-	9
名護市	23	61	61	-	-	-	-	-	-	84
宜野座村	1	3	3	-	-	-	-	-	-	4
金武町	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
伊江村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊平屋村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊是名村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
恩納村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うるま市	17	1	1	-	-	-	-	-	2	20
読谷村	2	16	-	16	-	-	-	-	-	18
嘉手納町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄市	47	8	1	4	3	-	-	-	4	59
北谷町	14	-	-	-	-	-	-	-	-	14
宜野湾市	23	7	-	1	5	-	1	-	-	30
北中城村	13	5	-	-	-	5	-	-	16	34
中城村	10	1	-	1	-	-	-	-	-	11
西原町	19	3	-	-	3	-	-	-	-	22
浦添市	42	43	-	2	37	4	-	-	4	89
那覇市	226	56	-	1	45	10	-	-	7	289
久米島町	10	-	-	-	-	-	-	-	-	10
南大東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北大東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊見城市	27	7	1	-	6	-	-	-	112	146
糸満市	20	62	-	-	4	58	-	-	132	214
八重瀬町	13	9	-	-	-	9	-	-	-	22
南城市	5	22	-	-	-	22	-	-	-	27
与那原町	12	-	-	-	-	-	-	-	1	13
南風原町	6	13	-	-	-	13	-	-	-	19
渡嘉敷村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
座間味村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
粟国村	-	4	-	-	-	4	-	-	-	4
渡名喜村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮古島市	36	126	-	-	-	-	126	-	-	162
多良間村	50	-	-	-	-	-	-	-	-	50
石垣市	10	77	-	-	-	-	-	77	-	87
竹富町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
与那国町	20	-	-	-	-	-	-	-	-	20
不明	202	13	-	8	5	-	-	-	-	215
計	861	540	70	33	108	125	127	77	278	1,679

(2) 講座を受けた動機

①美ら島沖縄学講座

第1回講座【組踊への誘い】

- ・ 組踊りに興味があり、組踊りに関して勉強したい。
- ・ 琉球の歴史や文化を勉強したい。
- ・ 友人やかりゆし長寿大学の職員の紹介。

第2回講座【ライフプラン・私の人生とお金の関係】

- ・ 今後の預貯金や保険が、どの程度必要なのか気になったから。
- ・ 将来のお金に不安があり、参考にしたかった。また、老後資金についても学びたかった。
- ・ 定年退職前なので、年金や人生設計にヒントがもらえればと思い参加した。

第3回講座【沖縄の位牌について 離島講座in与那国町】

- ・ 「沖縄の位牌」がどのように伝えられてきたか知りたかった。
- ・ 身近なことだが「位牌」についてほとんど知らなかったから。
- ・ 「位牌」の講座なんて今までになかったから。

第4回講座【古文書の読み方！パート1(ライブ配信)】

- ・ 古文書に興味があったから。古文書を読めるようになりたいから。
- ・ 古文書について知識を深めたい。「くずし文字」が読めるようになりたい。
- ・ 琉球の歴史を知るためには、古文書の解読が必要だと思ったから。

第5回講座【遺跡から出土する動物骨から歴史を探る(ライブ配信)】

- ・ 歴史や考古学に興味があったから。
- ・ 遺跡に興味があったから。
- ・ 発掘調査で出土した動物骨に興味があったから。

第6回講座【古文書の読み方！パート2(ライブ配信)】

- ・ 歴史に興味があり、以前から受講したかったから。
- ・ 生涯学習をつづけたい。
- ・ 歴代宝案が読めるようになりたかった為、古文書を学びたかった。

第7回講座【エンディングノート】

- ・ 年齢的にそろそろ準備や必要性を感じ始めていた。
- ・ エンディングノートを持ってはいたが書き方が分からなかった。きっかけになればと思った。
- ・ 残りの人生を豊かにしたかったため。

第8回講座【歴代宝案の世界 その1】

- ・ 琉球王国に興味があったから。
- ・ 移住のため勉強する機会があったから。

第9回講座【壺屋焼の歴史】

- ・ 壺屋焼に興味があった。壺屋焼の歴史を知りたい。
- ・ 陶器・焼き物が好きであるため。
- ・ 琉球の文化・歴史に興味があった。

第10回講座【沖縄の火の神について 離島講座in久米島】

- ・興味のある内容であったから。
- ・沖縄の神様について知りたかった。火の神のルーツについて知りたかった。
- ・各家庭で昔から継がれている事だけど、知らないことを知っておきたかった。

第11回講座【歴代宝案の世界 その2】

- ・歴代宝案について知りたかったから。
- ・琉球、沖縄の歴史について知りたかったから。勉強中のため。
- ・前回の講座も受講したため。
- ・中国との関わりを学びたかったから。

第12回講座【琉球のグスクを歩く～in勝連城跡】

- ・琉球史に興味があったから。
- ・グスクについてもっと知りたいと思ったから。
- ・勝連城跡は何度も来ているが、もっと詳しく知りたいと思ったから。

②広域学習サービス講座

国頭教育事務所【心を豊かに人生を楽しもう！～知る・学ぶ・癒やされる～】

- ・内容に興味があったから。
- ・講師の方に興味があったから。
- ・子どもの視野を広げたい。子どもの学習のため。
- ・友人に誘われて参加した。
- ・県が主催している講座を受けてみようと思った。

中頭教育事務所【令和から始めよう まなびの輪】

- ・興味があったから。
- ・親子一緒だったので参加しやすかった。
- ・大学の研究のため。
- ・健康のため。
- ・yogaを知りたかった。

那覇教育事務所【沖縄の歴史・文化・自然を楽しもう！】

- ・夏休みの講座だったので参加しやすかった。
- ・アウトドアに興味があり、家族だけでは不安だったので。
- ・アウトドアの料理など、楽しそうな内容だったので。
- ・沖縄の歴史に興味があり、学ぶため。
- ・友人に誘われたから。

島尻教育事務所【島尻は一つ「花と食でつながる地域づくり」】

- ・興味のある内容だったから。
- ・花や食について学びたいと思ったから。
- ・友人に勧められて参加した。
- ・昨年も受講して楽しかったから。
- ・いろいろな体験もでき、素晴らしい講座内容なので今年も受講した。

宮古教育事務所【宮古の海外交流(古代から現代まで)】

- ・ 宮古の歴史に興味があるから。
- ・ 倭寇に興味があるから。
- ・ 魚の捌き方およびナマリ節の作り方に興味があったから。
- ・ 泡盛に関するユニークな話題やトピックを期待して。
- ・ 酒造所の見学も入っていたので参加したいと思った。
- ・ 世界の料理・文化に興味があったから。

八重山教育事務所【やいま 再発見！！】

- ・ 地元のことをもっと知りたい、内容(講座)に惹かれた。
- ・ 個人ではなかなかできない体験学習が企画されていたから。
- ・ 楽しく体験できそうな内容だったから。
- ・ 地域の歴史、自然を知ることや、学ぶ事の良い機会だと思ったから。
- ・ 地域の歌に興味があったから。
- ・ 安良村について知りたかったから。

③学校開放講座

浦添工業高等学校【小学校向けプログラミング講座】

- ・ micro:bitに興味があったから。
- ・ 子どもが行きたいと言ったから。

美来工科高等学校(電子システム科)【Scratch言語でのプログラミング】

- ・ プログラミングに興味があったから。
- ・ ロボットに興味があったから。
- ・ コンピューターに興味があったから。

美来工科高等学校(電子システム科)【EV3を用いてのロボット制御】

- ・ EV3に興味があったから。
- ・ Scratch言語プログラミングが楽しかったから。

美来工科高等学校(ITシステム科)【プログラミング初心者講座】

- ・ プログラミングについて興味があったから。
- ・ マインクラフトに興味があったから。
- ・ コンピューターに興味があったから。
- ・ ロボットに興味があったから。

南部商業高等学校【キッズビジネスタウン南商withやえせマルシェ】

- ・ 社会の仕組みが分かるから。
- ・ 納税の仕組みが分かるから。
- ・ 働くことの大切さを知る。
- ・ 普段できないことをさせてもらえるから。
- ・ 仕事の実感できるから。

(3) 今後学習したいこと

① 美ら島沖縄学講座

- ・ 琉球王朝、琉球の歴史、文化について。
- ・ 県内のグスク廻り。
- ・ おもろそうし関係、琉球の城跡や歴史按司について。
- ・ 中国史、琉球と中国の貿易について。
- ・ 歴代宝案の内容を引き続き。
- ・ 古文書、文書関係について。
- ・ 琉球の歴史・文化、風俗習慣、仮名文、漢文の碑文。
- ・ 民具、織物について。
- ・ 明治時代の沖縄の状況を他県と比較した講座
- ・ 沖縄の文化(踊り、歌、三線、歌碑めぐり、指笛講座、沖縄の方言、沖縄の芝居など)
- ・ 実技指導等もあると良い。
- ・ 沖縄の動植物や環境に関する講演。
- ・ 余生について(相続、保険、介護、老後の迎え方、長生きするには)
- ・ 結婚後の女性の働き方。
- ・ 税金(相続税、贈与税、節税対策)
- ・ 家系図について。
- ・ お線香について。
- ・ 琉球の瓦について。
- ・ 社会経済について。

② 広域学習サービス講座

【国頭教育事務所】

- ・ 親子でできる調理実習
- ・ 他市町村の歴史講座
- ・ 体験学習をしたい
- ・ 沖縄料理やその文化について
- ・ 実験をしたい。

【中頭教育事務所】

- ・ 継続してyoga講座を開催してほしい

【那覇教育事務所】

- ・ 工作・クラフトなど。
- ・ 防災キャンプ(自然を楽しみながら)
- ・ SUP&カヌー&カヤック体験など。
- ・ 琉球の歴史(三山時代)など。
- ・ アウトドア料理など。

【島尻教育事務所】

- ・花と食に関する内容
- ・南部農林高等学校での学科の紹介をしていた発酵食品(味噌、醤油、麹菌)について。
- ・現代を生きる為に必要な知識とスキル(スマホ、写真データの保存や活用、SNS、キャッシュレス等)
- ・生活・趣味として取り入れられること。
- ・地域や沖縄の歴史について。

【宮古教育事務所】

- ・宮古の歴史・史跡・文化・自然・薬草・伝統全般。
- ・宮古島に関する全て。人との繋がり、星座や植物等。
- ・外国人との交流 ・琉球政府時代のネタ ・地下ダムのこと。
- ・宮古島の14～15世紀の八重山遠征の詳しい話。
- ・ブラジルなど、他の国の料理や歴史、食文化、子育て、風習などもっと深めたい。

【八重山教育事務所】

- ・文化財、貝塚、遺跡めぐり。
- ・島に存在する生物、植物など外来種について。
- ・八重山の植物、島のお菓子、民具作り。
- ・民話の里めぐり。
- ・年中行事。
- ・行事の料理(祝いの料理、法事の料理)

③学校開放講座

【浦添工業高等学校】

- ・Ruby。
- ・スクラッチの基本。

【美来工科高等学校(電子システム科)】

- ・プログラミングの応用。
- ・Scratchの応用。
- ・ロボットに関すること。
- ・ゲームの作成と体験。

【美来工科高等学校 (ITシステム科)】

- ・プログラミングをもっと学びたい。
- ・マイクラフトをもっと学びたい。
- ・コンピューターをもっと学びたい。
- ・ロボットについてもっと学びたい。

【南部商業高等学校】

- ・化石発掘、レゴ、韓国のお店、保育士、美容師のお仕事体験。

4 おきなわ県民カレッジ機関別連携講座数

(令和元年度)

機関名	番号	講座実施団体	前期	後期	年間	合計
(1)国・県関係機関	1	国立劇場おきなわ	5	2	7	346
	2	沖縄美ら島財団美ら海水族館	5	3	8	
	3	国際海洋環境情報センターGODAC	6	8	14	
	4	首里城公園管理部	-	2	2	
	5	沖縄県立図書館	1	1	2	
	6	沖縄県立埋蔵文化財センター	2	-	2	
	7	沖縄県公文書館指定管理者(公財)沖縄県文化振興会	4	-	4	
	8	沖縄県立博物館・美術館 博物館(博物館催事)	34	-	34	
	9	沖縄県立博物館・美術館 美術館(美術館催事)	15	-	15	
	10	沖縄県立博物館・美術館 (自主事業)	4	-	4	
	11	沖縄県立博物館友の会	-	1	1	
	12	沖縄県立名護青少年の家	18	-	18	
	13	沖縄県立石川青少年の家	8	19	27	
	14	沖縄県立糸満青少年の家	37	37	74	
	15	沖縄県立玉城青少年の家	16	-	16	
	16	沖縄県立宮古青少年の家	2	-	2	
	17	沖縄県立石垣青少年の家	26	-	26	
	18	沖縄県立総合運動公園	-	44	44	
	19	公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター	8	-	8	
	20	沖縄県介護実習・普及センター	25	-	25	
	21	公益財団法人おきなわ女性財団	7	3	10	
	22	沖縄県企画部科学技術振興課	-	2	2	
	23	沖縄県教育庁生涯学習振興課	-	1	1	
(2)市町村関係機関	24	那覇市中央公民館	8	-	8	270
	25	那覇市牧志駅前ほしぞら公民館	3	2	5	
	26	那覇市首里公民館	3	5	8	
	27	那覇市石嶺公民館	8	4	12	
	28	那覇市小録南公民館	16	-	16	
	29	那覇市若狭公民館	2	-	2	
	30	那覇市繁多川公民館	2	-	2	
	31	那覇市立中央図書館	1	-	1	
	32	浦添市立中央公民館	-	10	10	
	33	沖縄市立中央公民館	23	8	31	
	34	南風原町立中央公民館	24	-	24	
	35	宜野湾市立博物館	8	9	17	
	36	宮古島市総合博物館	2	-	2	
	37	浦添市民部市民協働・男女共同参画課	7	4	11	
	38	沖縄市役所文化芸能課エイサー会館	15	-	15	
39	南風原町教育委員会	-	10	10		
40	糸満市生涯学習支援センター	17	9	26		
41	那覇市小禄老人福祉センターかりゆしうるく	37	3	40		
42	ちゃたんニライセンター生涯学習プラザ	13	12	25		
43	首里振興会	-	5	5		
(3)高等教育機関	44	県立芸術大学	32	7	39	197
	45	沖縄県立看護大学	10	-	10	
	46	琉球大学	137	1	138	
	47	沖縄国際大学	10	-	10	
(4)各種教育関係機関等	48	沖縄県かりゆし長寿大学校	62	1	63	1,172
	49	浦添市てだこ学園大学院	114	-	114	
	50	沖縄文化健康センター ペアール沖縄・タピック	108	108	216	
	51	ウエル・カルチャースクール	-	771	771	
	52	在沖米国総領事館・株式会社PRESENT	-	3	3	
	53	豊見城歴史文化同好会	-	1	1	
	54	比屋根企画	-	1	1	
	55	おきなわ県民カレッジ学友会	-	3	3	
			885	1,100	1,985	1,985

おきなわ県民カレッジ開設要綱

平成17年3月11日知事決裁

(目的)

第1条 県民の多様化・高度化する学習ニーズに対応するため、県内の生涯学習関連機関が実施している講座等を総合的に体系化し、県民に生涯学習の機会を効果的に提供するとともに、学んだことを評価・活用する「おきなわ県民カレッジ」(以下「県民カレッジ」という。)を開設する。

(運営主体)

第2条 運営主体は、沖縄県教育委員会とする。

(講座の種別)

第3条 県民カレッジは、次の講座を開設する。

- (1) 主催講座
- (2) 連携講座
- 2 主催講座は、沖縄県教育委員会が主催する講座で広域学習サービス講座、学校開放講座及び美ら島沖縄学講座とする。
 - (1) 広域学習サービス講座は、各教育事務所単位で実施するものとする。
 - (2) 学校開放講座は高等学校(県立盲、ろう、特別支援学校の高等部を含む)、専修学校及び各種学校の施設、設備、人材を活用して実施するものとする。
 - (3) 美ら島沖縄学講座は沖縄県教育庁生涯学習振興課が企画する講座、講演、シンポジウム等とする。
- 3 連携講座は、国、県、市町村、高等教育機関、各種関係機関等が実施し、沖縄県教育委員会が認めるものとする。
- 4 講座の実施に関し、必要な事項は別に定める。

(受講資格)

第4条 受講者は主として沖縄県内に居住する者とする。ただし、連携講座については第3条第3項の規定する機関が定める。

(学長等)

第5条 県民カレッジに学長及び副学長を置く。

- 2 学長は、知事をもって充てる。
- 3 副学長は、教育長をもって充てる。

(運営委員会)

第6条 県民カレッジの運営に関する重要な事項について、有識者の意見を聴取するため、運営委員会を置く。

- 2 運営委員会は10名以内をもって組織し、委員は学長が選任する。
- 3 運営委員会に関し、必要な事項は別に定める。

(事務局)

第7条 県民カレッジの事務を処理するために事務局を沖縄県教育庁生涯学習振興課に置く。

- 2 事務局長は、沖縄県教育庁生涯学習振興課課長をもって充てる。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、県民カレッジの運営に関し必要な事項は別に定める。

(附則)

- この要綱は、平成17年4月1日から施行する。
この要綱は、平成19年5月14日から施行する。
この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

おきなわ県民カレッジ主催講座実施要項

平成17年 4月28日
教育長 決 裁

(目的)

第1条 おきなわ県民カレッジ開設要綱第3条第4項の規定に基づき、おきなわ県民カレッジ主催講座（以下「主催講座」という。）の実施に関し必要な事項を定める。

(実施機関)

第2条 主催講座の実施機関は、次のとおりとする。

- (1) 美ら島沖縄学講座は、おきなわ県民カレッジ事務局（沖縄県教育庁生涯学習振興課。以下「事務局」という。）が実施する。
- (2) 広域学習サービス講座は、各教育事務所が実施する。
- (3) 学校開放講座は、県立学校（県立盲、ろう、特別支援学校の高等部を含む）、専修学校及び各種学校が実施する。

(実施計画書等の提出)

第3条 実施を希望する機関は、おきなわ県民カレッジ主催講座実施計画書（様式1）とおきなわ県民カレッジ主催講座事業費見積書（様式2）を事務局に提出するものとする。

(実施機関の決定)

第4条 おきなわ県民カレッジ学長（沖縄県知事。以下「学長」という。）は、前条の実施計画書等の内容等を審査し、実施機関を決定する。

2 前項により、学長は決定の通知を行うとともに、必要に応じて委託業務契約を締結する。

(受講者)

第5条 受講者は、主として県内に居住する者とする。

(受講者の募集及び決定)

第6条 受講者の募集及び決定は、実施機関の長が行う。

(修了証の授与)

第7条 総時間の7割以上の出席者に修了証を授与することができる。

(講師)

第8条 講師は、学長が委嘱する。

2 学校開放講座の講師は、原則として実施機関である学校の教職員とする。ただし、学習の内容により外部講師を依頼することができる。

(経費の負担)

第9条 事業に必要な経費は、事務局が負担する。ただし、受講者に直接還元される教材費等は、受講者の負担とする。

- (1) 事務局は、教育事務所及び県立学校に対して、予算の範囲内で講座実施に必要な経費を令達するものとする。
- (2) 学長は私立高等学校、専修学校及び各種学校に対して、おきなわ県民カレッジ主催講座委託業務契約書に基づき必要な経費を支出するものとする。

(事業報告書)

第10条 実施機関は、おきなわ県民カレッジ主催講座事業実績報告書（様式3）、おきなわ県民カレッジ主催講座集計表（様式4）及びおきなわ県民カレッジ主催講座事業精算書（様式5）を講

座終了後30日以内に作成し、学長に提出しなければならない。

(受講者の責任)

第11条 講座の受講者は、受講に際し、実施機関の施設又は設備に損害を生じさせた場合には、その損害を賠償するものとする。ただし、学長がやむを得ない理由があると認めた場合は、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(実施上の事務)

第12条 この講座の実施に関する事務は、事務局が処理する。

(補則)

第13条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

- 1 この要項は、平成17年4月28日から施行する。
- 2 沖縄県広域学習サービス体制整備事業実施要綱（平成14年3月27日教育長決裁）、沖縄県広域学習サービス事業開設要項（平成10年7月30日教育長決裁）及び沖縄県学校開放講座実施要綱（平成6年6月1日教育長決裁）は、廃止する。
- 3 この要項は、平成20年4月1日から施行する。
- 4 この要項は、平成24年4月13日から施行する。

おきなわ県民カレッジ連携講座実施要項

平成17年4月28日
教育長 決 裁

(目的)

第1条 おきなわ県民カレッジ開設要綱第3条第4項の規定に基づき、おきなわ県民カレッジ連携講座(以下「連携講座」という。)の実施に関し、必要な事項を定める。

(実施機関)

第2条 連携講座を主催する機関は、国、県、市町村、高等教育機関、各種関係団体等の機関とする。

(講座)

第3条 連携講座は、県民に対して開かれた生涯学習に関する講座とする。次の各号に該当する講座は、連携講座として承認しないものとする。

- (1) 県及び主催団体職員のみを対象とした職務上の講習会や研修会
- (2) 特定の宗教や政治思想の普及を目的とした講習会や研修会
- (3) その他沖縄県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が、不相当と認めたもの

2 連携講座の主催者は、連携講座の表示をするものとする。

3 講座は、おきなわ県民カレッジ運営要項第9条第1項第2号に定める講座体系に分類するものとする。

(申請等)

第4条 連携講座の主催者は、おきなわ県民カレッジ連携講座申請書(様式1)により教育長に申請する。

2 教育長は、前項の申請書に基づき審査を行い、相当と認められるものについては承認し、おきなわ県民カレッジ連携講座承認書(様式2)により通知するものとする。

(受講者の募集及び決定)

第5条 受講者の募集及び決定は、各実施機関が行う。

(単位の認定)

第6条 連携講座の単位認定は、学長が行う。

(経費及び運営)

第7条 連携講座の開設及び運営に要する費用は、すべて各実施機関が負担するものとする。

2 この要項に定めるもののほか、講座の運営に関することは、各実施機関が行う。

(補則)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

この要項は、平成17年4月28日から施行する。

附則

この要項は、平成22年9月2日から施行する。

令和元年度 おきなわ県民カレッジ報告書

令和2年3月発行

発行 沖縄県教育庁 生涯学習振興課 生涯学習推進センター
〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37 南部合同庁舎4階
TEL 098-864-0474 FAX 098-864-0476
<https://www.pref.okinawa.jp/edu/shogai/index.html>

まなびネット おきなわで 生涯学習情報を検索しよう!

おきなわ県民カレッジ
講座情報も調べられる

スマートフォン、タブレット
からも使いやすい

www.l11-okinawa.info



生涯学習推進センターがおすすめする講座情報

活動レポートで講座の様子を見てみよう!

生涯学習推進センターのお知らせ。ライブ配信情報も分かります!

生涯学習推進センターや情報発信団体からの新着講座イベント情報



生涯学習情報を発信しませんか!

まなびネットおきなわで生涯学習に関する講座やイベント情報を発信しませんか。多くの利用者があり、効果的に情報を発信することができます。生涯学習に関する活動を行う関係機関・団体であれば、情報発信団体として登録することができます。

詳細はまなびネットおきなわのメールフォームからお問い合わせください。